

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	川崎市中央療育センター 発達支援事業所		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 5日		令和8年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49	(回答者数) 38
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 16日		令和8年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さんの将来を視野に入れた専門的かつ系統的・一貫性のある支援・援助を目指します。	心と体の安定を図りながら、運動遊びや感触遊び等の好きな遊びを大人と楽しむ中で、様々な活動に興味を示せるように支援をしています。 一人ひとりの認知の特性を理解しながら、行動への支援、様々な表現方法(表情、発声、身振り、事物や絵カードによる選択、言語等)で、人と関わりコミュニケーション力を育てています。 大人との信頼関係を築き情緒の安定を図りながら、小集団での生活や活動参加を支援しています。	療育支援に対して通園職員だけではなく、センター職員(医師・看護師・心理・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・訪問担当者・栄養士)と連携し支援を行います。
2	ファミリーサポート(ご家族への多様な支援)を行なうことによって、健全な育児、養育ができる支援・援助を目指します。	家庭生活における困り感や地域生活における相談支援を行います。 親子通園で具体的な関わりに対する相談援助をしています。 必要に応じて個人面談や勉強会(制度や生活支援等)を開催しています。	ソーシャルワーカーと一緒に相談支援を行います。 保護者勉強会に関しては、各クラスの課題に合わせ、適切な専門職員で実施しています。 園長によるミニ懇談会等も実施していきます。
3	地域における児童と関わる様々な関係機関との連携による支援・援助を目指します。	幼稚園や保育園、他事業所の利用等、地域で過ごすことを支援し、保護者のニーズに応じて電話連携や訪問支援を図り、情報共有を行います。 必要に応じて各機関における関係者会議等に参加しています。 センター機能として通園職員に限らず、センター職員が地域の園に訪問支援や事業所間連絡会を開催しています。	児童発達支援計画に記載し、必要に応じて園訪問へ行き連携をとっています。他部署とも連携して訪問強化を図っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	通園の職員人数が多く全体周知が難しい状況です。	児童発達支援センターと児童発達支援事業所を運営しています。それに伴い、職員総数も多く共通認識が図れていないところもあります。	毎朝の朝礼や全体職員会議で情報共有を図っていきます。一人ひとりの思いを汲み取り対応できるように職員面談を実施していきます。
2	児童発達支援センターとしての規模が大きいこともあり、通園部以外のセンター機能の把握や役割等の理解が行えていないところもあります。	日々行っている療育支援だけではなく、児童発達支援センターとしての中核機能や様々な制度理解が職員全体で把握できていないところがあります。	児童発達支援センターにおける事業内容や制度等の把握を改めて学ぶ研修会を実施していきます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 川崎市中央療育センター 児童発達支援事業所

公表日 令和8年 3月 25日

利用児童数 49名 令和8年1月30日

回収数 38名

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	38				・子どもの人数と合っていると思いま す。	・お子さんの状況に応じた保育室の広さ で療育を実施しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	37	1			・子どもの人数と合っていると思いま す。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いま すか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	37			1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	37	1			・清掃しているところを度々見ていま す。	・心地よく過ごせるように環境を整えて います。
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	35	3			・対象をよく見た上で対応いただけていま す。 ・おかげさまで始めてから半年、見違え る程、成長しています。	・引き続きお子さんに応じた支援を行っ ていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	36	1		1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	37	1			・よく相談した上で作成いただけていま す。	・面談を実施しながら、お子さんへの支 援について一緒に考えていきます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思いますか。	36	2				
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	36	1		1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	37			1	・人気のあるものを含めつつ、季節のイ ベント等もあり、違いが感じられます。 ・毎日「何を今日はするのかな？」と楽 しみにしています。	・お子さんにとって、楽しい活動になる ように工夫していきます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと 活動する機会がありますか。	20	4	1	13	・保育園での機会があります。	
保護 者へ の説 明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につい て丁寧な説明がありましたか。	37			1		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	37			1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング 等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	28	4		6		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況につ いて共通理解ができていると思いますか。	36	1		1		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	37	1				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	37			1		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	6	3	11	・保護者同士の場を設けていただき、い ろいろな話を聞いて参考になりました。	・就労されている方も多いことから、父 母の会は設定していません。親子通園日 に話し合える時間の確保や勉強会の設定 を行っています。	
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されている とともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周 知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	32	1	2	3			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	37	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	30	3		4	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	36			2	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	32	2		4	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	28	2		8	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	36	1		1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	35			3	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	37	1			
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	35	2		1	・だんだんと慣れてきたのか、行き渋りも少なく笑顔で参加し始めています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	36	2			

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	川崎市中央療育センター 児童発達支援事業所				公表日	令和8年 3月 25日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・活動によって2つに分けたりしている。	・活動によっては狭いと感じる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1		・配置基準としては満たしているが、子どもの状態に応じた配置が必要と感じる。 ・クラス状況や子どもの状態に応じて対応できるようフリー職員の配置があると良い。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・棚や収納の工夫はされている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			
適切な 支援の 提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	1		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・工夫されていると感じる。 ・その日の子どもの状態に応じてこまめに変更している。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・療育の振り返りはしっかりされている。	・毎日異なるクラスの担当者は子どもへの支援の繋がりが難しい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・保護者の希望があれば行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	1		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	・家族支援は実施している。	・児童発達支援センターとしてのペアレントトレーニングは実施しているが、事業所の保護者は利用していない。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6				
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6				
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6				

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6				